

平成 22 年度
学士学位論文

就職活動状況の把握を支援する
SNS の構築

Job-Hunting Activities situation Understanding
Support System Using SNS

1110252 小松原 健

指導教員 妻鳥 貴彦

2011 年 3 月 1 日

高知工科大学 情報システム工学科

要 旨

就職活動状況の把握を支援する

SNS の構築

小松原 健

就職活動を行う学生（以下，就活生）は，自己分析，筆記試験や面接試験の対策を行う必要がある．対策を行う際に，自分の指導教員や本学で言えば，就職支援部にあたる部署から様々な支援を受けることができ，円滑に就職活動を進めることが可能となる．

しかし，就活生の就職活動拠点が遠隔地にある場合，教員や就職支援部へ相談する機会が限られてしまう．また，教員や就職支援部へ相談に来る就活生は少なく，来たとしても頻度は高くない．このため，教職員が就活生の活動状況を把握し，個々に応じた支援を行うことが困難になってしまう．

先行研究では，SNS(Social Networking Service) を用いて就活生，教員，職員の三者間で報告，連絡，相談の補助を行う提案がされた．これは，SNS 上で就活生から教職員へ活動状況の報告や相談を行えるものである．三者間で情報共有を行うことにより，就職活動を円滑に進めることが可能となる．しかし，就活生が多数の場合，一人一人の活動を把握することが困難になってしまう．

本研究では，教職員に対し就活生が多数の場合でも，活動状況を把握しやすいようにシステムの改善を行う．また，独自の機能を追加し，教職員が就活生個々に応じた就職活動支援を行えるようにする．

システムの改善後は就職支援部の方に対して評価を行い，本システムの有効性を確認した．

キーワード 就職活動状況 教職員 SNS

Abstract

Job-Hunting Activities situation Understanding Support System Using SNS

Ken KOMATSUBARA

Job-hunting activities students prepare to get unofficial decision such as self-analysis and practice of the job-interview. The student can receive various supports from their teacher and the placement officer of university. For this support, the students job-hunting activities become smoothly.

However, it is difficult for student to consult job-hunting activities by the teacher and the placement officer when her/his activities in faraway place. Moreover, the few student to consult to the teacher and the placement officer. Consequently, the teacher and the placement officer can not know job-hunting activities situation and support.

In previous study, we developed job-hunting activities support system by introducing SNS(Social Networking Service). The system can display list as the students' job-hunting activities progress. However, it is difficult for the teacher and the placement officer to understand many students' job-hunting activities progress.

In this study, the teacher and the placement officer can understand many students' job-hunting activities and support her/his activities using SNS. Therefor, we improved the system and added original function.

We evaluate whether the system can support understanding job-hunting activities situation. As a result, we confirmed effectiveness of the system by the placement officer.

key words job-hunting activities situation, placement, SNS

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	研究の背景	2
2.1	就職活動の現状	2
2.2	就職活動状況の把握	2
2.3	先行研究	3
2.4	研究の目的	4
第 3 章	就職活動状況把握の支援	5
3.1	就職活動の状況	5
3.2	就職活動の状況把握の支援	7
3.3	SNS の利用	8
3.4	一般的な SNS	9
3.5	本研究の SNS	10
第 4 章	就職活動状況の把握を支援する SNS の設計	11
4.1	システムに必要な機能	11
4.2	スケジュール機能	12
4.3	日記機能	12
4.4	メッセージ機能	12
4.5	掲示板機能	12
4.6	活動状況報告機能	13
4.7	カレンダー共有機能	13
4.8	検索機能	13
4.9	企業別状況閲覧機能	13

目次

第 5 章	就職活動状況の把握を支援する SNS の実装	14
5.1	システムの構成	14
5.2	システムの概要	14
5.2.1	ホーム画面	15
5.2.2	活動状況表	15
5.2.3	スケジュール画面	16
5.2.4	カレンダー共有画面	17
5.2.5	検索画面	18
5.2.6	企業別状況閲覧画面	20
第 6 章	評価と考察	22
6.1	評価環境	22
6.2	評価内容	22
6.3	就職支援部の方からの意見	23
6.4	考察	23
第 7 章	おわりに	25
	謝辞	26
	参考文献	27

目次

5.1	就職活動支援 SNS のホーム画面 (パソコン)	15
5.2	就職活動支援 SNS のホーム画面 (パソコン)	16
5.3	活動状況表の画面	16
5.4	スケジュール画面	18
5.5	カレンダー共有画面 (指導学生)	19
5.6	カレンダー共有画面 (志望業界)	19
5.7	検索画面	20
5.8	検索結果画面	21
5.9	企業別状況閲覧画面	21

第 1 章

はじめに

就職活動はエントリーから始まり，合同説明会や会社説明会，筆記試験，面接試験を経て内定へと至るまでの流れがある．就職活動を行っている学生（以下，就活生と呼ぶ）は，自己分析から始まり，会社説明会では履歴書の作成，面接試験では面接練習といった状況に応じた対策を行う．また，就活生を指導している教員や在籍している学校の就職活動を支援している部署（本学で言えば就職支援部）は，就活生からの申し出によって，個々に応じた支援を行っている．個々に応じた支援により，就活生は就職活動を円滑に進めることが可能となる．

教職員が個々に応じた支援を行うには，就活生の活動状況を把握する必要がある．しかし，就活生の活動拠点が遠隔地の場合や，相談に来る就活生が少ない場合は，就活生の活動状況を把握することが困難になる．教職員は就活生の活動状況を把握していなければ個々に応じた支援を行うことが困難となる．

先行研究では，SNS(Social Networking Service) を用いて就活生，教員，職員の三者間で報告，連絡，相談の補助を行う提案がされた [1]．これは，SNS 上で就活生から教職員へ活動状況の報告や相談を行えるものである．このように三者間で情報共有を行うことにより，就活生は就職活動を円滑に進めることが可能となる．しかし，就活生が多数の場合，一人一人の活動状況を把握することが困難になるという問題点がある．

本研究では，先行研究のシステムを改善し，教職員に対し就活生が多数の場合でも，就職活動状況の把握が行いやすいようにする．また，独自の機能を追加し，教職員が就活生個々に応じた就職活動支援を行えるようにする．

第 2 章

研究の背景

2.1 就職活動の現状

就職活動はエントリーから始まり、合同説明会や会社説明会、筆記試験、面接試験を経て内定へと至る。就活生は、その就職活動の状況に応じて様々な対策を行っている。例えば、会社説明会に対しては会社を調べたり、履歴書を提出する。また、筆記試験に対しては、適性検査への対策を行い、面接試験に対しては面接練習を行う。そして、履歴書やエントリーシートを提出するために、業界研究や企業研究、自己分析を行う。このように就職活動生は、内定に至るまでに様々な対策を自ら考え、積極的に行っている。

就活生は、就職活動の様々な状況に応じて教職員に対し、随時就職活動状況の報告や相談を行う。その際に、教職員は就活生の活動状況を把握し、個々に応じた支援を行う。就活生は教職員からの支援を受けることで、円滑に就職活動を進めることができる。教職員が個々に応じた支援を行うには、就活生の活動状況を把握する必要がある。

2.2 就職活動状況の把握

教職員は就活生の活動状況を把握し個々に応じた支援を行う。就活生の活動状況とそれに対する支援は以下の通りである。

- 選考を受けるため企業の情報を探している状況

教職員が知っている企業の情報を提供する。また、合同説明会や個別説明会の情報があれば就活生へお知らせを行う。

2.3 先行研究

- 書類選考がなかなか通らない状況

自己分析の補助や履歴書，エントリーシートの添削を行う．

- 筆記試験がなかなか通らない状況

SPI2(性格と能力から資質を検索する就職採用テスト) や CAB(コンピュータ職の適性検査)，GAB(新卒総合職の採用を目的に開発された試験) などの対策として問題集の配布や対策本の貸し出しを行う [2][3] ．

- 面接試験がなかなか通らない状況

面接試験の受け答えを聞き，指導を行う．また，模擬面接を行う．

上記以外にも，就活生からの報告や悩みを聞き支援を行う．

教職員が就活生個々に応じた就職活動支援を行うためには，就活生個々の活動状況の把握が必要となる．しかし，就活生の活動拠点が遠隔地の場合や相談に来る就活生が少ないといった場合，教職員が就活生の活動状況を把握することが困難になる．就活生が遠隔地にいる場合，メールや電話といった方法で教職員に活動状況を報告したり，就職活動についての悩みを相談したりすることが可能である．しかし，メールや電話での相談では，マナーや時間帯を気にしてしまい，就活生にとって敷居が高い．そのため，活動状況を報告する就活生が少なく，教職員は活動状況の把握が困難になる．

2.3 先行研究

先行研究では，SNS を利用して就活生，教員，職員の三者間で報告，連絡，相談の補助を行える提案がされた．また，独自の機能として，活動状況報告機能が実装された．この機能は，受験した企業ごとに説明会から試験，内定までの進行状況を表形式にまとめたもので，教職員が就活生の活動状況を把握するために用いられた．

先行研究より，就活生が遠隔地にいる場合でも，教職員へ報告，連絡，相談を行うことが容易となった．また，教職員は就活生個々の活動状況を容易に把握できるようになった．

2.4 研究の目的

2.4 研究の目的

先行研究では、就活生一人一人の就職活動状況を把握することが可能となった。しかし、教職員に対して就活生が多数の場合、就職活動状況を把握することが困難になってしまうという問題点がある。教職員が就活生の活動状況を把握することが困難になれば、個々に応じた就職活動支援を行うことも困難となる。

そこで、本研究の目的として、就活生が多数の場合でも、教職員が就職活動状況を把握できるように支援を行う。教職員が就活生の活動状況を容易に把握できるようにし、個々に応じた就職活動支援を可能にする。

第3章

就職活動状況把握の支援

3.1 就職活動の状況

就活生の活動状況は様々である。教職員は就活生の活動状況に応じて就職活動支援を行っている。就活生の活動状況と、それに対する教職員からの支援は以下の通りである。

- 就活生の選考における状況

- － エントリを始める状況

- * 支援方法

- 就活生が志望している業界に沿った、企業の情報を提供する。また、自己分析の補助や、企業に提出するエントリーシート、履歴書の添削を行う。

- － 合同説明会や個別説明会を受ける状況

- * 支援方法

- 学内で行われている説明会や各地で行われている説明会の情報を提供する。引き続き自己分析の補助や、企業に提出するエントリーシート、履歴書の添削を行う。

- － 筆記試験を受ける状況

- * 支援方法

- SPI2(性格と能力から資質を検索する就職採用テスト) や CAB(コンピュータ職の適性検査), GAB(新卒総合職の採用を目的に開発された試験) などの対策として問題集の配布や対策本の貸し出しを行う。

3.1 就職活動の状況

- － 面接試験を受ける状況
 - * 支援方法
面接試験の受け答えを聞き，指導を行う．また，模擬面接を行う．
- － 内定を獲得した状況
 - * 支援方法
今後，就職活動を継続するかどうか就活生と相談を行う．
- 就活生の活動における状況
 - － 積極的に就職活動を行っている状況
 - * 支援方法
問題が起きてないかなど相談をする．
 - － 選考で詰まっている状況
 - * 支援方法
どの選考で詰まっているか相談し，詰まっている選考の状況に応じた支援を行う．
 - － 就職活動を停止している状況
 - * 支援方法
就活生と相談し，なぜ停止しているのか聞く，そして，励ましや就職活動を再開できるように解決策を提示する．
 - － 選考を受けている企業に統一性がない
 - * 支援方法
自己分析の補助を行い，就活生自身がどのような企業を受けたいのか明確にする．
- 就活生の悩みや問題における状況
 - － 悩みや不安がある状況
 - * 支援方法
就活生と相談を行い，悩みや不安を解消する．また，就活生を励ます．

3.2 就職活動の状況把握の支援

－ 就職活動以外で問題がある状況

* 支援方法

就活生と相談を行い，問題の解決策を提示する．

就活生は，教職員から就職活動支援を受けることで，問題や悩みを解決することができ，就職活動を円滑に進めることが可能となる．教職員が就職活動支援を行う際，就活生の活動状況に応じて，相談や，履歴書の添削、面接の練習などを行う．就活生の活動状況に応じた支援を行うには，活動状況を把握することが必要となる．

3.2 就職活動の状況把握の支援

教職員が就活生の活動状況を把握するため，各プロセスに対し以下に示す支援を行う．

● 就活生の最新スケジュールを表示

教職員は就活生の活動状況を把握し，その状況に応じた支援を行っている．しかし，就活生の活動状況は 3.1 に述べた通り様々であるため，状況を把握することが困難である．そこで，教職員が活動状況を把握できるようにするため，最新のスケジュールを表示する．最新のスケジュールを表示することにより，就活生がどのような状況で，何に対して悩んでいるのかなど状況を把握することが可能となる．状況を把握することで，その状況に応じた支援を行うことが可能となる．

● 多数の就活生を一覧で表示

教職員に対して就活生は多数なため，活動状況を把握し，それに応じた就職活動支援を行うことが困難である．そこで，多数の就活生を一覧で表示することにより，教職員が就活生の活動状況を容易に把握することが可能となる．また，学科別や指導学生別で切り替えを行い，さらに把握を容易にする．

● 就活生からのアドバイス要求を表示

就活生が悩みや問題を抱えているといった状況は，スケジュールを把握することである程度知ることが可能となる．しかし，スケジュールからでは，悩みや問題を明確にする

3.3 SNS の利用

ことは困難である。就活生のスケジュールや活動状況を把握したうえで、就活生からのアドバイス要求を表示することにより、就活生の抱えている悩みや問題が明確になる。悩みや問題を明確にすると、教職員はよりの確な支援やアドバイスを行うことが可能となる。

- 企業ごとに選考を受けている就活生を表示

教職員は、就活生の選考状況に応じて支援を行う。しかし、企業によって選考が異なったり、面接で重視することが異なったりと、教職員が企業の選考情報を把握することが困難である。教職員がこれらの情報を、閲覧しやすいように企業別に選考を受けている就活生をまとめて表示する。企業ごとに選考を受けている就活生をまとめて表示することで、教職員が企業の選考情報を把握することが容易になり、就活生に的確なアドバイスを行いやすくなる。

3.3 SNS の利用

就活生、教員、職員といった、立場が違う三者間が遠隔地でも報告、連絡、相談する手段として、電話やメールといった方法がある。しかし、2.2 で述べたように就活生にとって敷居が高い。そこで、立場の違う三者間でもインターネット上で社会的ネットワークを構築できる SNS が有効だと考える。また、SNS は会員制をとることができるため、本学の就活生、教員、職員のための利用が可能となる。

SNS とは、Social Networking Service の略であり、インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービスのことで、人と人とのつながりを補助する場である。SNS には、社会的ネットワークを構築するための様々な機能が用意されている。例えば、掲示板機能では、同じ目的や趣味をもった他人と意見交換や情報共有などが可能である。また、日記機能は、他人の日記を読み、そこから他人と交流が可能である。

そして、SNS の参加形態には、招待制と登録制の 2 種類がある。まず、招待制の SNS に参加するためには、既会員による招待が必要である。また、登録制は、誰でも自由に利用者

3.4 一般的な SNS

の意思で SNS を利用することができる。

代表的な SNS の例として、「mixi」がある [4]。また、最近では、四国の大学関係者のみが会員となれる「さとあい」や、熊本県八千代市の関係者のみが会員となれる「ごろっとやっちろ」といった SNS がある [5][6]。このように、地域や企業限定で活用されている SNS が増えてきている。

3.4 一般的な SNS

一般的に利用されている SNS の機能は、新たな人間関係の構築や友人、知人とのコミュニケーションの補助に利用されている。一般的な SNS の機能は以下の通りである。

- 掲示板機能

同じ目的や趣味を持った人が集まり、意見交換や情報共有を行い、交流することができる。

- 日記機能

自分の日記を指定した範囲内で公開することができる。また、公開されている友人や他人の日記を読むことができ、その日記に対してコメントを書き込むことができる。それにより、友人や他人と交流することができる。

- メッセージ機能

同じ SNS に登録している人とメッセージの送受信することができる。そして、メッセージを送信する場合、相手のアドレスを知らなくても送信できる。

- マイフレンド機能

自分の友人や知人、そして、SNS 内で知り合った人同士で登録し合う。また、マイフレンドになるためには、相手にマイフレンドとして承認されないと登録できないようになっている。

- スケジュール機能

自分のスケジュールを登録することができ、カレンダーで確認することができる。

3.5 本研究の SNS

- プロフィール機能

自分の血液型や出身地，自己紹介などを登録することができる．

- 紹介文機能

マイフレンドとなっている人が，どんな人物なのかを紹介することができる．

- レビュー機能

本や音楽に対して，意見や感想を書き，公開することができる．

3.5 本研究の SNS

本研究の SNS は，教職員が就活生の活動状況把握を支援することを目的とする．そのため，一般的な SNS のように，新たな人間関係の構築を目的とした機能は利用せず，改良を行う．一般的な SNS にあるマイフレンドのような概念を用いない．また，教職員が就活生の活動状況を把握できるようにするため，教職員は就活生の情報を全て閲覧可能にする．

第 4 章

就職活動状況の把握を支援する SNS の設計

4.1 システムに必要な機能

本研究では、教職員が就活生の活動状況を把握しやすくするため 3.2 で述べた支援を行う。就活生の選考状況や悩みを把握するため、就活生の最新のスケジュールを表示する機能、アドバイス要求を表示する機能が必要である。そこで、SNS のスケジュール機能、日記機能を用いる。また、先行研究で実装された、活動状況報告機能を用いる。

多数の就活生を容易に把握するため、多数の就活生を一覧で表示する機能が必要である。そこで、独自の機能として、カレンダー共有機能、検索機能を実装する。

教職員が企業の選考情報を閲覧しやすくするため、企業ごとに選考を受けている就活生を表示する機能が必要である、そこで、独自の機能として、企業別選考閲覧機能を実装する。

就活生の悩みや問題を解決するため、就活生へアドバイスや相談を行う機能が必要である。そこで、SNS の掲示板機能、メッセージ機能を用いる。

本研究では、就職活動状況把握の支援に必要な機能については、削除を行い、必要最低限の機能を実装する。

4.2 スケジュール機能

4.2 スケジュール機能

スケジュール機能では、会社説明会や面接試験など、就活生が行った活動内容の詳細を知るため、また、就活生からのアドバイス要求を知るための機能である。合同説明会や会社説明会、筆記試験、面接試験などの場合に分け、それぞれの活動内容を詳細に登録するためのテンプレートを用意する。それにより、就職活動生全員が同じ形式で活動内容を登録することができ、教職員は就活生の活動状況を把握しやすくなる。

履歴書やエントリーシートを SNS 上で閲覧できるようにする。就活生が実際に書いた履歴書やエントリーシートを閲覧することで、添削を行いやすくする。

就活生から教職員へアドバイスを求めることができ、就活生がどのようなことで悩んでいるのか把握することができる。教職員は、登録した活動内容の詳細やアドバイス要求を見て、アドバイスを書き込むことができる。

4.3 日記機能

日記機能は、就活生の振り返りや反省などを知るための機能である。

4.4 メッセージ機能

メッセージ機能は、教職員が就活生へアドバイスを行うときや、就活生が教職員へ個別に相談、履歴書の添削や面接練習の事前予約などに用いる機能である。

4.5 掲示板機能

掲示板機能では、就職支援部から就職活動に関する最新情報や、学内説明会などの情報を就活生全員に配信を行う。また、就活生からの就職相談を受けるためにも用いる。この掲示板で相談された内容は、他の就活生に公開されるようにする。そのため、相談した就活生名が他の就活生にわからないように、相談した就活生の名前を表示しないようにする。しか

4.6 活動状況報告機能

し、教職員は誰が相談したかわかるようにする。

4.6 活動状況報告機能

カレンダー形式で表示されるスケジュール機能とは異なり、受験した各企業ごとに説明から試験、内定までの進行状況を表形式でまとめる機能である。また、先行が進んでいるかはっきり示すための内定獲得した企業か、選考中の企業か、選考が終了した企業かの3つで色分けを行う。この表を見ることにより、就活生の活動状況を把握できるようになり、就職活動が進んでいるか進んでいないかわかるようにする。

4.7 カレンダー共有機能

カレンダー共有機能では、教員と就活生がカレンダーを共有し、教員が指導している就活生の活動状況を一括で把握可能にする機能である。カレンダーを共有することで、指導学生が就職活動を積極的に行っているか把握できるようにする。また、就活生は教職員や、同じ志望業界の就活生とカレンダーを共有し、合同説明会の日程などを把握できるようにする。

4.8 検索機能

検索機能では、学科や氏名、企業名から就活生を検索するための機能である。エントリ数や最も進んだ選考、最新の選考を一覧で表示し、どの選考で詰まっているか、積極的に就職活動を行っているのか把握するために用いる。

4.9 企業別状況閲覧機能

企業別状況閲覧機能では、企業別に選考を受けている就活生を一覧で表示し、把握しやすくするための機能である。教職員が企業の選考情報を把握することができ、就活生へアドバイスを行いやすくする。

第 5 章

就職活動状況の把握を支援する SNS の実装

5.1 システムの構成

本研究では、OpenPNE[7] というオープンソースの SNS エンジンを改良した就職活動状況の把握を支援する SNS の構築した。この OpenPNE は PHP、MySQL(データベース)、Postfix(メールサーバ)、Apache(Web サーバ) で構成されている。

5.2 システムの概要

本研究では、OpenPNE に予め実装されている機能の内、掲示板機能、日記機能、メッセージ機能、スケジュール機能を改良した。また、それ以外の本研究では必要としない機能であるフレンド機能、レビュー機能、紹介文機能は削除した。先行研究で実装されていた状況報告機能を用いた。そして、独自の機能である、カレンダー共有機能、検索機能、企業別状況閲覧機能を実装した。

教職員は就活生の活動状況を把握する必要があるため、就活生の情報を全て閲覧できるようにした。

5.2 システムの概要

5.2.1 ホーム画面

本研究の SNS では、まず SNS のログイン画面からアカウントとパスワードを入力し、ログインを行う。その際に入力されたアカウントから、就活生、教員、職員が判別を行う。ログイン後は、ホーム画面が表示される。このホーム画面には、SNS 内の最新情報や就活生からのアドバイス要請、内定者の人数が表示されるようになっている。実際のパソコンから見たホーム画面を図 5.1、携帯から見たホーム画面を図 5.2 示す。



図 5.1 就職活動支援 SNS のホーム画面 (パソコン)

5.2.2 活動状況表

活動状況表では企業名順と、進んだ選考順に並び替える機能とエントリーした数、選考中の数、落選した数、志望業界の表示を追加した。また、教職員からアドバイスがあれば印が付く、わかりやすくした。活動状況表の画面を図 5.3 に示す。

5.2 システムの概要

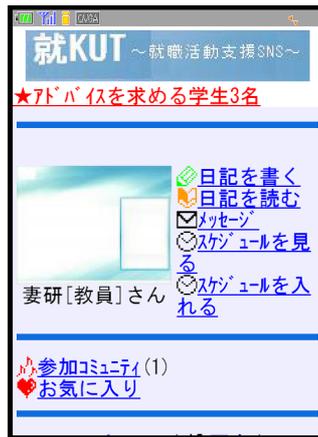


図 5.2 就職活動支援 SNS のホーム画面 (パソコン)

5.2.3 スケジュール画面

スケジュール機能では、就活生が行った活動内容を詳細に知ることができるようにした。その内容は、活動内容(エントリー, 合同説明会, 筆記試験, 面接試験, 内定連絡から選択), 企業名, 試験日時, 合否連絡日, 詳細(試験の時間や内容, 手応えなど), 履歴書やエント

▶ 2011年2月現在の就職活動状況									
エントリー数:8		選考数:8		落選数:0		志望業界:ソフトウェア・情報処理			
名前順に並び替え / 選考順に並び替え									
	会社名	選考状況	合同説明会 +	会社説明会 +	筆記試験 +	面接試験 +	2次面接	3次面接	内定
1	日立情報システムズ +	内定獲得 変更		2/8	2/11 (2/15)	2/16 (2/20)			2/18
2	ジェイテック +	内定獲得 変更		1/17	1/17 (1/20)	1/25 (1/27)	1/27 (1/31)	2/2 (2/7)	2/7
3	長田電機工業 +	内定辞退 変更		2/21	2/25 (2/28)				
4	アンリツエンジニアリング +	結果待ち 変更		2/22	2/24 (2/24)				
5	トスコ +	日程調整中 変更		2/18	2/18 (2/22)				
6	NTTアドバンステクノロジー +	日程調整中 変更		2/23					
7	セントラル情報センター +	日程調整中 変更							
8	日立ハイテクソリューションズ +	日程調整中 変更		2/14					

教員からのアドバイスがあれば印が付く

図 5.3 活動状況表の画面

5.2 システムの概要

リーシートの閲覧，アドバイス要請（アドバイス必要なし，履歴書の添削，筆記試験対策，面接試験対策，企業についての情報，どこがダメだったかわからないから選択）である．登録された活動内容は，，全員同じ形式で詳細を入力するようにテンプレートを用意した．活動内容の詳細を入力するためのテンプレートは以下の通りである．

- 合同説明会や会社説明会の場合
開催した場所，説明会の内容，手応えや感想
- 筆記試験の場合
試験時間，試験内容（SPI2，CAB・GAB，性格診断，その他試験），手応えや感想
- 面接試験の場合
面接形式（個人面接，集団面接，グループディスカッション），面接官と就活生の人数，面接時間，雰囲気，聞かれた質問，質問の回答，手応えや感想
- 内定連絡の場合
連絡方法（直接，電話，メール），今後について

SNS 上で履歴書やエントリーシートを閲覧できるようにファイルアップロード機能を追加した．就活生がエントリーシートや履歴書などアップロードした場合，そのファイルをダウンロードできるようにした．また，教職員は，就活生の活動内容や，アドバイス要請を見てアドバイスを書き込むことができるようにした．

実際の活動内容の詳細を登録した際のスケジュール画面を図 5.4 示す．

5.2.4 カレンダー共有画面

カレンダー共有機能では，就活生や教職員とカレンダーを共有することができる．教職員は，日頃指導している学生とカレンダー共有を可能にした．就活生は，教職員に加え，同じ志望業界の就活生とカレンダー共有を可能にした．教職員側では，就活生の名前を公開し，誰がどの選考を受けたのか把握できるようにした．就活生側では，名前を非公開にし，誰がどの選考を受けたのかわからないようにした．指導学生とカレンダーを共有した場合の画面

5.2 システムの概要

▶ 内蔵[就活生]さんの予定 ※教職員が確認しました	
活動内容	会社説明会
企業名	日立情報システムズ
開始	2011年02月01日00時00分
終了	2011年02月01日00時00分
詳細	会場: 大阪 説明会の内容: 業務内容の説明 履歴書の提出: なし ESの提出: 後日web形式で提出 手応え、感想など: なし
履歴書やESなど	日立情報システムズ.txt
学生からアドバイス要請	ES、履歴書の添削をお願いします
教職員からアドバイス	アドバイスをした教職員名: 妻研[教員]さん もう少し具体的に書くと読み手の興味がわくと思います。資格の欄は今後取得する予定の資格があれば書きましょう。

図 5.4 スケジュール画面

を図 5.5, 同じ志望業界の就活生とカレンダーを共有した場合を図 5.6 に示す。

5.2.5 検索画面

検索機能では、就活生の検索を行うことができる。検索方法として以下の通りである。

- 選考検索

企業名, 選考状況, 選考内容から就活生を検索することができる。

- 学生検索

学生名, 所属学科, 検索対象 (全ての学生, 指導学生のみ, 指導学生以外) から就活生を検索することができる。

- 企業別検索

企業名, 所属学科, 検索対象 (全ての学生, 指導学生のみ, 指導学生以外) からその企業の選考を受けている就活生を検索することができる。

5.2 システムの概要

2011年2月のカレンダー							
天気予報を見る		SCHEDULE スケジュールを追加		活動状況表		指導学生 ▼	<input type="button" value="切り換え"/>
日	月	火	水	木	金	土	
		1 SCHEDULE アイティフォー くにただ [就活生]さん	2 SCHEDULE	3 SCHEDULE 日立情報システムズ 太郎 [就活生]さん	4 SCHEDULE クエスト内藤 [就活生]さん	5 SCHEDULE	
6 SCHEDULE	7 SCHEDULE アンリツエン ジニアリング 太 郎 [就活生]さん 富士通関西 システムズ 太 郎 [就活生]さん	8 SCHEDULE 富士通関西 システムズ 太 郎 [就活生]さん メガチップス くにただ [就活 生]さん	9 SCHEDULE 共和エクス システムズ 太 郎 [就活生]さん 富士通関西 システムズ 太 郎 [就活生]さん	10 SCHEDULE 富士通四国 システムズ 太 郎 [就活生]さん 共和エクス システムズ 太 郎 [就活生]さん	11 SCHEDULE 四国化工機 械 太郎 [就活生]さん 三菱電機情 報ネットワーク くにただ [就活生]さん	12 SCHEDULE	

図 5.5 カレンダー共有画面 (指導学生)

2011年2月のカレンダー							
天気予報を見る		SCHEDULE スケジュールを追加		活動状況表		志望業界 ▼	<input type="button" value="切り換え"/>
日	月	火	水	木	金	土	
		1 SCHEDULE	2 SCHEDULE ジェイテック [就活生]さん	3 SCHEDULE コモタ [就活 生]さん	4 SCHEDULE	5 SCHEDULE	
6 SCHEDULE	7 SCHEDULE ジェイテック [就活生]さん	8 SCHEDULE 日立情報シ ステムズ [就活 生]さん タック [就活 生]さん	9 SCHEDULE ソフトウェア サービス [就活 生]さん	10 SCHEDULE コモタ [就活 生]さん 日立ハイシ ステム21 [就活 生]さん	11 SCHEDULE 日立情報シ ステムズ [就活 生]さん 情報技術開 発 [就活生]さん	12 SCHEDULE	

図 5.6 カレンダー共有画面 (志望業界)

検索結果では、就活生の氏名、エントリ数、選考数、落選数、最も進んだ選考、最新の選考を一覧で表示を行うようにした。就活生を検索する画面を図 5.7、検索結果画面を 5.8 に示す。

5.2 システムの概要

▶ 選考検索※他の学生が受けた選考を表示します	
企業名	<input type="text"/>
選考状況	指定しない ▼
検索したい選考	指定しない ▼
<input type="button" value="検索"/>	

▶ 学生検索※学生の選考状況を表示します	
学生名	<input type="text"/>
所属学科	指定しない ▼
検索対象	全ての学生 ▼
<input type="button" value="検索"/>	

▶ 企業別検索※企業別に学生を表示します	
企業名	<input type="text"/>
所属学科	指定しない ▼
検索対象	全ての学生 ▼
<input type="button" value="検索"/>	

図 5.7 検索画面

5.2.6 企業別状況閲覧画面

企業別状況閲覧機能では、企業別に選考を受けている就活生を把握することができる。企業別に選考を受けている就活生を表形式でまとめて表示を行う。企業別状況閲覧の画面を図 5.9 に示す。

5.2 システムの概要

▶ 検索結果一覧 *** 8名が該当しました。 ※ 表示は会社名(選考内容)(選考を受けた日付)になっています。				
1件~8件を表示				
No Image	氏名	山田 武	エントリー数	7
	選考数	5	落選数	2
	最も進んだ選考	1次面接試験: タック (2011-02-14)		
	最新の選考	会社説明会: ソフトウェア・サービス (2011-02-15)	詳細を見る ➡	
No Image	氏名	佐藤	エントリー数	9
	選考数	9	落選数	0
	最も進んだ選考	内定: ジェイテック (2011-02-07)		
	最新の選考	会社説明会: セントラル情報センター (2011-02-15)	詳細を見る ➡	

図 5.8 検索結果画面

▶ 2011年2月現在日立情報システムズの選考を受けている学生							
名前順に並び替え / 選考順に並び替え							
	氏名	現状	合同説明会	会社説明会	筆記試験	面接試験	内定
1	山下	内定決定		2/11	2/14 (2/16)	2/17 (2/21)	2/21
2	佐藤	内定辞退		2/8	2/11 (2/15)	2/16 (2/20)	2/18
3	山田 武	内定獲得		2/8	2/11 (2/15)	2/16 (2/18)	2/18
4	朝田	結果待ち		2/14	2/18 (2/23)	2/22 (2/28)	
5	くにただ	落選		2/16	2/18 (2/20)		
6	内藤	日程調整中		2/1	2/3 (2/3)		
7	足立	選考辞退		2/2			
8	太郎	エントリー					

図 5.9 企業別状況閲覧画面

第 6 章

評価と考察

本研究の SNS が、就職活動状況把握の支援に有効かどうかについての評価を行った。

6.1 評価環境

評価対象として、就職支援部の方 3 名に評価を行った。

6.2 評価内容

評価内容として、本研究の目的、背景を説明した上で、デモンストレーションを行った。その後、就職支援部の方と意見交換を行った。具体的な評価方法として手順を以下に示す。

1. 本研究の背景、目的を説明
2. 本研究の SNS のデモンストレーション
 - (a) トップページの説明
 - (b) スケジュール機能の説明
 - (c) 活動状況閲覧機能の説明
 - (d) カレンダー共有機能の説明
 - (e) 検索機能の説明
 - (f) 企業別状況閲覧機能の説明
 - (g) メッセージ機能の説明
3. 就職支援部の方と意見交換

6.3 就職支援部の方からの意見

就職支援部の方からの意見は以下の通りである。

- 就活生の活動状況を把握についての意見
 - － 検索機能では、最新の選考など一覧表示でき、就職活動状況把握に有効である。
 - － 学科別に表示することが可能なので、大人数でも把握しやすい。
 - － 就活生からのアドバイス要求や内定獲得の情報をトップページに表示されるので活動状況を把握しやすい。
 - － 就活生からアドバイス要求があるので、どのようなことで悩んでいるのかわかり、就職活動支援が行いやすい。
- 不満点や改善点
 - － どの選考で落選したのが表示されるとよりわかりやすい。
 - － 掲示板でも代用できるが、就活生全員や志望業界ごとの就活生へ一斉にメッセージを送れるようになるとさらに良い。
 - － 学生からの意思表示を自由記述にすれば問題や悩みをより詳しく把握できる
- その他意見
 - － 面接の対策は就活生と直接会って見ないと対策がしづらい。しかし、SNS上で模擬面接の予約に利用することができる。
 - － SNS上で履歴書などをダウンロードしメッセージ機能で了承を得ることで、書類選考に通った履歴書などをなかなか通らない就活生へ渡すことができるようになる。就職支援部だけでは、個人情報なので渡すことはできない。
 - － 就活生から活動の書き込みがあれば有効活用できる。

6.4 考察

就職支援部の方から、「検索機能では最新の選考など一覧表示でき、就職活動状況把握に有効である」「学科別に表示することが可能なので、大人数でも把握しやすい」という意見が

6.4 考察

得られた。また、状況把握だけでなく、「就活生から助言を求める表示があるので就職活動支援が行いやすい」という意見から、就活生への活動支援を行うこともできるということがわかった。

これらのことから本研究の SNS による活動状況把握支援は有効だということがわかった。そして、本研究の SNS を利用することで教職員は就活生へ個々に応じた就職活動支援を行うことができると考えられる。

しかし、「どの選考で落選したのが表示されるとよりわかりやすい」「掲示板でも代用できるが、就活生全員や志望業界ごとの就活生へ一斉にメッセージを送れるようになるとさらに良い」という意見から、支援機能をより充実させる必要があるとわかった。

また、「就活生からの活動書き込みがあれば有効活用できる」という意見から、本研究の SNS を有効活用するには、就活生へ活動の書き込みを促す必要がある。今後の課題として、就活生の書き込みを促す仕組みを検討する必要がある。

第 7 章

おわりに

本研究では、教職員に対して就活生が多数の場合でも、就職活動状況を把握可能にした SNS の構築を行った。また、就職活動状況の把握を支援するための機能を追加した。

実装では、オープンソースの SNS である、OpenPNE を改良した。把握を支援する機能を検討し、実装を行った。

評価結果より、多数の就活生でも就職活動状況把握に有効であるという結果が得られた。また、就活生から活動書き込みがあれば有効活用できるという結果から、就活生に書き込みを促す必要がある。

今後の展開として、就職活動を始める、行っている学生 3 名 (学部 2 名、院生 1 名) と、その学生 7 名を指導している教員の方 1 名、そして、就職支援部の方に本研究の SNS を試用してもらう予定である。

謝辞

本研究の全てにおいて、ご多忙な中、多大なるご指導を賜りました高知工科大学情報システム工学科妻鳥貴彦講師に心より御礼申し上げます。

本研究において、ご多忙な中、副査をお引き受け頂き、適切なお助言、ご指導頂いた同学科岩田誠教授に心から感謝いたします。同様に、ご多忙な中、副査をお引き受け頂き、適切なお助言、ご指導いただいた同学科岡田守教授に心から感謝致します。

本研究において、評価へのご協力、適切なお助言を頂きました、高知工科大学就職支援部の方々に心から感謝致します。

昨年度の研究活動に多大な功績を残して頂いた、高知工科大学 10 期生の中澤大樹氏に心から感謝致します。

ご自身の研究活動でお忙しい中、時間を惜しまず、様々な助言、ご指導いただきました妻鳥研究室修士 2 年の森拓也氏、清水雅也氏、に深く感謝いたします。

就職活動でお忙しい中、様々なご指導いただきました、同研究室修士 1 年の松本直樹氏に深く感謝致します。

励ましあい、共に卒業研究をやりぬき、支えあった同研究室学部 4 年の岡崎雄太氏、中山陽介氏本当にお疲れ様でした。雰囲気をもたせ、協力してくださった同研究室学部 3 年生に感謝致します。

最後に 4 年間、私を支えてくれた友人、家族に心から感謝致します。本当にありがとうございました。

参考文献

- [1] 中澤 大樹, “就職活動支援を支援する SNS の構築”, 高知工科大学学士学位論文, 2010.
- [2] “SPI2”, リクルートマネジメントソリューションズ, <http://www.recruit-ms.co.jp/service/spi2/>.
- [3] “CAB・GAB”, 日本エス・エイチ・エル株式会社, <http://www.shl.co.jp/>.
- [4] “mixi”, mixi Inc, <http://mixi.co.jp/>.
- [5] “キャンパス SNS「さとあい」”, 四国キャンパス SNS 協議会, <http://sns.ait230.tokushima-u.ac.jp/>.
- [6] “ごろっとやっちろ”, 熊本県八代市, <http://www.gorotto.com/>.
- [7] “OpenPNE”, 手嶋屋, <http://www.openpne.jp/>.